

第 17 回 日本化学連合シンポジウム 「防災と化学」

開催日時：2024 年 3 月 5 日（火） 14：00～17：40（予定）

開催方式：オンライン開催

主催：日本化学連合

共催：（予定）化学工学会、クロマトグラフィー科学会、高分子学会、触媒学会、石油学会、
日本エネルギー学会、日本化学会、日本ゼオライト学会、日本地球化学会、日本膜学会、
日本薬学会

協賛：（予定）化学工業日報社、化学情報協会、日本セラミックス協会、繊維学会

後援：（予定）新化学技術推進協会

協力：（予定）Chem-Station

参加費：無料（要事前登録）

申込締切：2024 年 3 月 2 日（土）

開催趣旨

能登半島地震で罹災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

自然災害、疾病、火災、事故、テロ、戦争など、古今東西に渡って「災い」は、人間や社会にとって避けたくても避けがたいものである。そうではあっても、できる限り災いを回避し、万が一罹災してしまっても被害を最小限に食い止めるために、防災の努力は不断に続けられて行かなければならない。防災においても、化学は積極的な役割を果たしたい。

本シンポジウムでは防災のベースとなる化学を、素材・材料、安全管理、疾患治療などの観点から、各分野を代表する講師の先生方に講演いただく。リスクマネジメントの将来を見据えながら、化学が防災に対してどのような貢献ができるのかを広い視野で議論する。

プログラム

<14：00～14：10>開会挨拶

14：10～15：00

若月 薫先生（信州大学）

（キーワード）防護服を一つの衣服システムとしてとらえる。繊維、素材

15：00～15：50

熊崎美枝子先生（横浜国立大学）

（キーワード）エネルギー物質、プロセス安全、安全管理、安全教育、物質安全

15：50～16：00 休憩

16：00～16：50

今枝厚貴先生（エーザイ株式会社）

（キーワード）アルツハイマー病薬レカネマブの開発研究

16：50～17：40

伊藤耕三先生（東京大学）

（キーワード）様々な高分子化学。高分子と安心・安全・防災

17：40～18：00 総合討論